



## 2022年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月8日

上場会社名 株式会社タスキ 上場取引所 東  
 コード番号 2987 URL https://tasukicorp.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柏村 雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 狩野 雄一郎 TEL 03 (6812) 9330  
 定時株主総会開催予定日 2022年12月22日 配当支払開始予定日 2022年12月23日  
 有価証券報告書提出予定日 2022年12月23日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年9月期の連結業績（2021年10月1日～2022年9月30日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期	12,276	—	1,714	—	1,570	—	1,088	—
2021年9月期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2022年9月期 1,088百万円 (—%) 2021年9月期 ー百万円 (—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年9月期	92.69	—	31.4	13.9	14.0
2021年9月期	—	—	—	—	—

(参考) 持分法投資損益 2022年9月期 ー百万円 2021年9月期 ー百万円

(注) 当社は、当連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、2021年9月期の数値、対前期増減率及び2021年9月期の対前期増減率については記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年9月期	12,621	3,862	30.6	328.88
2021年9月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 2022年9月期 3,862百万円 2021年9月期 ー百万円

(注) 当社は、当連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、2021年9月期の数値については記載していません。

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年9月期	307	△1,172	1,323	3,711
2021年9月期	—	—	—	—

(注) 当社は、当連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、2021年9月期の数値については記載していません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年9月期	—	0.00	—	52.00	52.00	305	—	—
2022年9月期	—	0.00	—	33.00	33.00	387	35.6	11.2
2023年9月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00		35.6	

(注) 1. 当社は、2021年12月10日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2021年9月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

2. 当社は、当連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、2021年9月期の配当性向(連結)及び純資産配当率(連結)については記載していません。

### 3. 2023年9月期の連結業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	30.3	2,120	23.7	1,910	21.6	1,320	21.3	112.40

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、 除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P.9「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年9月期	11,744,000株	2021年9月期	11,744,000株
② 期末自己株式数	2022年9月期	96株	2021年9月期	96株
③ 期中平均株式数	2022年9月期	11,743,904株	2021年9月期	10,892,606株

(注) 当社は、2021年12月10日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2022年9月期の個別業績（2021年10月1日～2022年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期	12,212	32.9	1,701	36.0	1,567	40.9	1,086	36.7
2021年9月期	9,190	30.8	1,250	116.0	1,112	113.0	794	140.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年9月期	92.51	—
2021年9月期	72.94	67.90

- (注) 1. 当社は、2020年10月2日付で東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、2021年9月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から2021年9月期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。  
2. 当社は、2021年12月10日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2022年9月期	12,307	3,860	3,860	3,079	31.4	328.70	328.70	
2021年9月期	9,909	3,079	3,079	3,079	31.1	262.19	262.19	

(参考) 自己資本 2022年9月期 3,860百万円 2021年9月期 3,079百万円

(注) 当社は、2021年12月10日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料につきましては、2022年11月8日にT D n e t及び当社ウェブサイトへ掲載予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益処分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	10
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11
4. 財務諸表 .....	12
(1) 貸借対照表 .....	12
(2) 損益計算書 .....	14
(3) 株主資本等変動計算書 .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大による各種感染防止策の解除が行われるなど、徐々に経済活動が正常化に向かう動きがみられました。一方で、ロシアのウクライナ侵攻の影響による原材料価格高騰や、アメリカの金融引き締め政策による急激な円安の進行などの不透明な状況に注視が必要と考えられます。

国内においては、ビジネスのあらゆる場面でデジタル化が加速し、政府は、攻めのIT投資を後押しする姿勢です。また、不動産業界においても2022年5月18日の宅地建物取引業法の改正により、不動産取引におけるデジタル化への対応が急務となっております。しかし、公益財団法人不動産流通推進センターが発表した『2021不動産統計集』によると、不動産業界は全国の86%の事業者が小規模事業所であり、業務効率化のためにシステム開発を行うことが困難な状況と考えられます。

このような状況のもと、当社は自社のみならず不動産業界全体の発展と市場のさらなる拡大を目指し、不動産業界のDX化を牽引すべく自社で活用しているシステムをサービスとして提供するSaaS事業を行っております。

2022年2月に外部提供を開始した「TASUKI TECH TOUCH & PLAN」については、建築プランの精度向上を継続的に行うほか、不動産デベロッパーへの課題のヒアリングを行い、「TASUKI TECH」の他サービスとのクロスセルに向けたアプローチやプロダクト全体の強化を実施しております。

クラウドファンディング事業においては、第2号ファンド及び第3号ファンドの運用を開始しました。また、「不動産×金融」の取組みを強化すべく、貸付ファンドを行う事業者とのサービス提供に向けて協業を開始しました。これらを通じて引き続き個人投資家へ新しい投資の提供の機会を創出すると共に、サービスの認知拡大を目指してまいります。

さらに、2021年10月26日に設立した株式会社タスキプロスは、データとITを取り入れた中小企業、小規模事業者向けの新たな不動産融資サービスを開始しております。

従来、当社は単体決算としておりましたが、当連結会計年度より株式会社タスキプロスを連結子会社とする連結決算に移行し、セグメント区分についても従来のLife Platform事業の単一セグメントから、Life Platform事業と不動産融資サービスを行うFinance Consulting事業の2つの事業セグメントに変更いたしました。

当連結会計年度における経営成績は、売上高は122億76百万円、営業利益は17億14百万円、経常利益は15億70百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は10億88百万円となりました。

なお、当社は当連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、前期との比較は記載しておりません。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

（Life Platform事業）

新築投資用IoTレジデンス販売及び開発用地販売の合計で39件の引渡しを行いました。売上高は122億12百万円、営業利益は17億1百万円となりました。

（Finance Consulting事業）

売上高は63百万円、営業利益は3百万円となりました。

### （2）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における資産合計は、126億21百万円となりました。流動資産は120億72百万円、固定資産は5億48百万円となりました。

流動資産の主な内訳は、販売用不動産及び仕掛販売用不動産が合計で70億51百万円、現金及び預金が37億11百万円、短期貸付金が11億45百万円であります。

（負債）

当連結会計年度末における負債合計は、87億58百万円となりました。流動負債は54億59百万円、固定負債は32億99百万円となりました。

流動負債の主な内訳は、1年内返済予定の長期借入金が33億円、短期借入金が12億61百万円であり、固定負債の主な内訳は、長期借入金が30億73百万円であります。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は、38億62百万円となりました。その主な内訳は、資本金が10億49百万円、資本剰余金が7億34百万円、利益剰余金が20億78百万円であります。

### （3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」)の残高は、37億11百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、全体で3億7百万円の資金の増加となりました。主な資金の増加要因は、税金等調整前当期純利益15億70百万円であります。また、主な資金の減少要因は、棚卸資産の増加額11億55百万円、法人税等の支払額4億43百万円であります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、全体で11億72百万円の資金の減少となりました。主な資金の減少要因は、短期貸付金の純増加額11億45百万円であります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、全体で13億23百万円の資金の増加となりました。主な資金の増加要因は、長期借入れによる収入63億17百万円、短期借入金の純増加額12億45百万円であります。また、主な資金の減少要因は、長期借入金の返済による支出59億58百万円、配当金の支払額3億3百万円であります。

### （4）今後の見通し

新型コロナウイルス感染症の影響は、ワクチン接種が進むなど、アフターコロナを見据えた景気回復が期待される一方、世界的な物価高や金利の上昇、急激な円安の進行には留意が必要な状況が継続するものと見込まれます。

当社の主力商品であります新築投資用IoTレジデンス販売に関しては、円安も影響し、ますます海外投資家の日本の不動産投資市場への参入が予想されますが、円安による材料費の高騰等、引き続き市況の動向を注視しながらLife Platform事業において新築投資用IoTレジデンスの企画開発を積極的に推進していくとともに、Finance Consulting事業において中小企業、小規模事業者向けの不動産融資サービスの提供に努めてまいります。

次期につきましては、売上高160億円(前期比30.3%増)、営業利益21億20百万円(前期比23.7%増)、経常利益19億10百万円(前期比21.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益13億20百万円(前期比21.3%増)を見込んでおります。

### （5）利益処分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして位置付けており、業績と経営環境を勘案のうえ、企業体質の強化や将来の事業展開に備えるための内部留保を確保しつつ、配当性向35%以上を目標として、安定的な配当を継続することを基本方針としております。内部留保金につきましては、事業基盤を支えるシステム開発投資や景気変動の影響を受けにくい企業体質の確立に向けた関連事業投資を進め、安定的な事業基盤の確立と株主価値の増大に努めてまいります。

当期の期末配当金につきましては、1株につき33円として定時株主総会に提案する予定であり、連結配当性向は35.6%となります。

当社は、これまで剰余金の配当を行う場合、年1回の期末配当を基本方針としており、配当の決定機関は株主総会としておりましたが、株主の皆様への利益還元の機会を充実させるため、2023年9月期より中間配当を実施することといたしました。なお、当社は会社法第454条第5項に規定する中間配当を取締役会の決議によって行うことができる旨を定款に定めております。

次期の配当につきましては、1株につき中間配当20円と期末配当20円をあわせて年間40円を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、海外からの資金調達予定がないことや、財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準の適用につきましては、資金調達の状況や株主構成、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	当連結会計年度 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>	
<b>流動資産</b>	
現金及び預金	3,711,344
販売用不動産	1,302,631
仕掛販売用不動産	5,748,830
原材料及び貯蔵品	827
前渡金	115,400
短期貸付金	1,145,000
その他	48,423
流動資産合計	12,072,456
<b>固定資産</b>	
<b>有形固定資産</b>	
建物及び構築物（純額）	9,992
機械装置及び運搬具（純額）	1,294
工具、器具及び備品（純額）	3,582
その他（純額）	805
有形固定資産合計	15,675
<b>無形固定資産</b>	
ソフトウェア	35,724
その他	62,722
無形固定資産合計	98,447
<b>投資その他の資産</b>	
投資有価証券	319,562
繰延税金資産	61,065
その他	104,748
貸倒引当金	△51,440
投資その他の資産合計	433,936
固定資産合計	548,059
<b>繰延資産</b>	
開業費	247
創立費	465
繰延資産合計	712
資産合計	12,621,228

(単位：千円)

当連結会計年度 (2022年9月30日)	
<b>負債の部</b>	
流動負債	
工事未払金	84,292
短期借入金	1,261,700
1年内返済予定の長期借入金	3,300,258
1年内償還予定の社債	54,000
未払金	141,919
未払法人税等	345,426
契約負債	79,500
賞与引当金	20,478
役員賞与引当金	35,264
その他	136,558
流動負債合計	5,459,397
固定負債	
社債	182,000
長期借入金	3,073,238
退職給付に係る負債	12,573
その他	31,676
固定負債合計	3,299,487
負債合計	8,758,885
<b>純資産の部</b>	
株主資本	
資本金	1,049,640
資本剰余金	734,640
利益剰余金	2,078,156
自己株式	△93
株主資本合計	3,862,343
純資産合計	3,862,343
負債純資産合計	12,621,228

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)
売上高	12,276,888
売上原価	9,321,166
売上総利益	2,955,721
販売費及び一般管理費	1,241,210
営業利益	1,714,511
営業外収益	
受取利息	1,542
受取配当金	237
受取地代家賃	4,857
その他	243
営業外収益合計	6,880
営業外費用	
支払利息	126,981
支払手数料	14,475
その他	9,033
営業外費用合計	150,490
経常利益	1,570,901
特別利益	
固定資産売却益	4,264
投資有価証券売却益	10,000
特別利益合計	14,264
特別損失	
固定資産除却損	14,488
特別損失合計	14,488
税金等調整前当期純利益	1,570,676
法人税、住民税及び事業税	504,700
法人税等調整額	△22,584
法人税等合計	482,116
当期純利益	1,088,560
親会社株主に帰属する当期純利益	1,088,560

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)
当期純利益	1,088,560
包括利益	1,088,560
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	1,088,560



## (3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	1,049,640	734,640	1,294,937	△93	3,079,124	3,079,124
当期変動額						
剰余金の配当			△305,341		△305,341	△305,341
親会社株主に帰属する当期純利益			1,088,560		1,088,560	1,088,560
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						—
当期変動額合計	—	—	783,218	—	783,218	783,218
当期末残高	1,049,640	734,640	2,078,156	△93	3,862,343	3,862,343

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前当期純利益	1,570,676
減価償却費	9,403
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,078
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	855
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,671
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	51,440
受取利息及び受取配当金	△1,779
支払利息	126,981
支払手数料	14,475
固定資産除売却損益 (△は益)	10,224
投資有価証券売却損益 (△は益)	△10,000
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,155,785
前渡金の増減額 (△は増加)	△30,420
仕入債務の増減額 (△は減少)	42,864
契約負債の増減額 (△は減少)	47,100
預り金の増減額 (△は減少)	16,843
前受収益の増減額 (△は減少)	132
その他	179,404
小計	880,166
利息及び配当金の受取額	277
利息の支払額	△129,508
法人税等の支払額	△443,932
営業活動によるキャッシュ・フロー	307,003
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△50,000
定期預金の払戻による収入	50,000
有形固定資産の取得による支出	△5,992
有形固定資産の売却による収入	78,146
無形固定資産の取得による支出	△84,814
投資有価証券の取得による支出	△110,001
投資有価証券の売却による収入	110,000
関係会社株式の取得による支出	△10,000
出資金の払込による支出	△30
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△1,145,000
敷金及び保証金の差入による支出	△10,427
敷金及び保証金の回収による収入	6,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,172,119
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,245,550
長期借入れによる収入	6,317,560
長期借入金の返済による支出	△5,958,194
リース債務の返済による支出	△2,094
割賦債務の返済による支出	△5,127
社債の償還による支出	△54,000
匿名組合出資預り金の純増減額 (△は減少)	99,000
配当金の支払額	△303,952
その他	△15,625
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,323,115
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	457,999
現金及び現金同等物の期首残高	3,253,344
現金及び現金同等物の期末残高	3,711,344

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当連結会計年度の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、新築投資用IoTレジデンスの企画販売、不動産投資型クラウドファンディングの運営、不動産デベロッパー向けSaaS型マルチプラットフォームの開発・運営、DXコンサルティング等を行うLife Platform事業と、データとITを取り入れた中小企業、小規模事業者向けの新たな不動産融資サービスを行うFinance Consulting事業から成り立っております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表の作成方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当連結会計年度（自 2021年10月1日 至 2022年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額
	Life Platform 事業	Finance Consulting事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,212,974	63,914	12,276,888	—	12,276,888
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,212,974	63,914	12,276,888	—	12,276,888
セグメント利益	1,701,476	3,524	1,705,001	9,510	1,714,511
セグメント資産	12,307,439	1,208,789	13,516,228	△895,000	12,621,228
その他の項目					
減価償却費	9,285	118	9,403	—	9,403
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	88,053	2,899	90,953	—	90,953

(注) 1. 調整額は、以下の通りであります。

(1)セグメント利益の調整額9,510千円は、セグメント間取引消去であります。

(2)セグメント資産の調整額△895,000千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)
1株当たり純資産額	328.88円
1株当たり当期純利益	92.69円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
 2. 当社は、2021年12月10日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。  
 3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (2022年9月30日)
純資産の部の合計額 (千円)	3,862,343
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	—
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	3,862,343
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (株)	11,743,904

4. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)
1株当たり当期純利益	
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,088,560
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,088,560
普通株式の期中平均株式数 (株)	11,743,904

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. 財務諸表

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年9月30日)	当事業年度 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,253,344	3,660,986
販売用不動産	857,637	1,302,631
仕掛販売用不動産	5,038,517	5,748,830
原材料及び貯蔵品	348	827
前渡金	84,980	115,400
前払費用	14,626	25,305
関係会社短期貸付金	—	845,000
その他	163,136	18,706
流動資産合計	9,412,590	11,717,687
固定資産		
有形固定資産		
建物	9,120	8,453
車両運搬具	—	1,294
工具、器具及び備品	1,889	2,340
土地	63,005	—
リース資産	2,013	805
建設仮勘定	9,846	—
有形固定資産合計	85,875	12,893
無形固定資産		
商標権	264	231
ソフトウェア	17,094	35,724
リース資産	1,133	453
その他	16,576	62,038
無形固定資産合計	35,068	98,447
投資その他の資産		
投資有価証券	300,000	309,562
関係会社株式	—	60,000
出資金	12,920	12,920
長期前払費用	582	1,984
繰延税金資産	38,481	60,920
破産更生債権等	—	16,440
その他	23,859	68,023
貸倒引当金	—	△51,440
投資その他の資産合計	375,843	478,410
固定資産合計	496,787	589,752
資産合計	9,909,378	12,307,439

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年9月30日)	当事業年度 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	41,428	84,292
短期借入金	194,000	961,700
1年内返済予定の長期借入金	1,372,792	3,300,258
1年内償還予定の社債	54,000	54,000
リース債務	2,094	1,417
未払金	63,530	141,288
未払費用	2,464	4,909
未払法人税等	283,307	344,039
前受金	32,400	—
契約負債	—	79,500
預り金	3,711	69,267
前受収益	2,436	2,568
賞与引当金	15,400	20,478
役員賞与引当金	34,409	35,264
その他	—	48,774
流動負債合計	2,101,973	5,147,758
固定負債		
社債	236,000	182,000
長期借入金	4,463,488	3,073,238
リース債務	1,417	—
退職給付引当金	9,901	12,573
その他	17,474	31,676
固定負債合計	4,728,280	3,299,487
負債合計	6,830,254	8,447,245
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,049,640	1,049,640
資本剰余金		
資本準備金	734,640	734,640
資本剰余金合計	734,640	734,640
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,294,937	2,076,006
利益剰余金合計	1,294,937	2,076,006
自己株式	△93	△93
株主資本合計	3,079,124	3,860,193
純資産合計	3,079,124	3,860,193
負債純資産合計	9,909,378	12,307,439

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)	当事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)
売上高	9,190,085	12,212,974
売上原価	6,967,393	9,316,932
売上総利益	2,222,692	2,896,042
販売費及び一般管理費	972,011	1,194,565
営業利益	1,250,680	1,701,476
営業外収益		
受取利息	35	10,252
受取配当金	166	237
受取地代家賃	1,492	4,857
その他	23	1,043
営業外収益合計	1,718	16,390
営業外費用		
支払利息	95,565	126,981
支払手数料	23,090	14,475
社債発行費	8,529	—
上場関連費用	6,183	—
株式交付費	2,407	—
その他	4,435	8,899
営業外費用合計	140,211	150,356
経常利益	1,112,186	1,567,510
特別利益		
固定資産売却益	211	4,264
投資有価証券売却益	12,000	10,000
事業譲渡益	14,315	—
特別利益合計	26,526	14,264
特別損失		
固定資産除却損	2,799	14,488
特別損失合計	2,799	14,488
税引前当期純利益	1,135,913	1,567,285
法人税、住民税及び事業税	360,114	503,313
法人税等調整額	△18,755	△22,438
法人税等合計	341,358	480,875
当期純利益	794,554	1,086,410



## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度（自 2020年10月1日 至 2021年9月30日）

(単位：千円)

	株主資本							純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越 利益剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	920,000	605,000	605,000	630,383	630,383	—	2,155,383	2,155,383
当期変動額								
新株の発行	129,640	129,640	129,640				259,280	259,280
剰余金の配当				△130,000	△130,000		△130,000	△130,000
当期純利益				794,554	794,554		794,554	794,554
自己株式の取得						△93	△93	△93
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）								—
当期変動額合計	129,640	129,640	129,640	664,554	664,554	△93	923,741	923,741
当期末残高	1,049,640	734,640	734,640	1,294,937	1,294,937	△93	3,079,124	3,079,124

当事業年度（自 2021年10月1日 至 2022年9月30日）

(単位：千円)

	株主資本							純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越 利益剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	1,049,640	734,640	734,640	1,294,937	1,294,937	△93	3,079,124	3,079,124
当期変動額								
新株の発行								
剰余金の配当				△305,341	△305,341		△305,341	△305,341
当期純利益				1,086,410	1,086,410		1,086,410	1,086,410
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）								—
当期変動額合計	—	—	—	781,068	781,068	—	781,068	781,068
当期末残高	1,049,640	734,640	734,640	2,076,006	2,076,006	△93	3,860,193	3,860,193